

スーパージェットセメント

太平洋の超速硬セメント

スーパージェットセメントの特長

POINT 1

3時間で24N/mm²以上の強度を発現

普通セメントは初期強度をC₃S(エーライト)の水和に依存しますが、スーパージェットセメントでは、より活性度の高いカルシウムサルフォアルミニート系鉱物(アウイン)水和によってより早く、より高い強度を発現します。

POINT 2

長期にわたる安定した強度増進

アルミナセメントに見られる水和生成物の転移に伴う結合力の低下や多孔化現象がなく、従来のセメントと同様にエーライトおよびビーライトの水和によって更に緻密化し、長期の強度増進が期待できます。

POINT 3

低温環境下でも優れた強度発現性

常温より強度発現が若干遅れますが、普通のセメントに比べて水和活性が高いため低温でも短時間で所定の強度が得られます。

POINT 4

作業性の向上

粘性が小さく、普通のセメントと同様の作業性、施工性が得られます。また、ブリーディングの発生はほとんどありません。

POINT 5

色

色は普通のポルトランドセメントと同様です。

用途

- 道路 : 舗装コンクリート版の打換え、ガス管等各種埋設物の埋戻し、マンホール回り補修
- 橋梁 : 伸縮継手補修、床版打換え、拡幅に伴う間詰め、落橋防止、床版増厚、排水管取換え
- 鉄道 : 踏切り、枕木取換え、軌道下補強、スラブ版充填
- 滑走路 : 舗装コンクリート版補修、目地部の部分打換え、プレキャスト版充填
- 工場 : 土間、機械基礎、構内軌道補修
- 港湾 : 水中コンクリート
- グラウト : 杓座、プレキャスト版、道路及び滑走路舗装コンクリート版等の下面注入
- モルタル : 機械据付、各種ブロックタイルの張付、建屋内外の土間

スーパージェットセメント



20kg/袋

エフェクト-J 被膜養生剤



18ℓ/缶

ジェットセッター 凝結遅延剤(粉末)

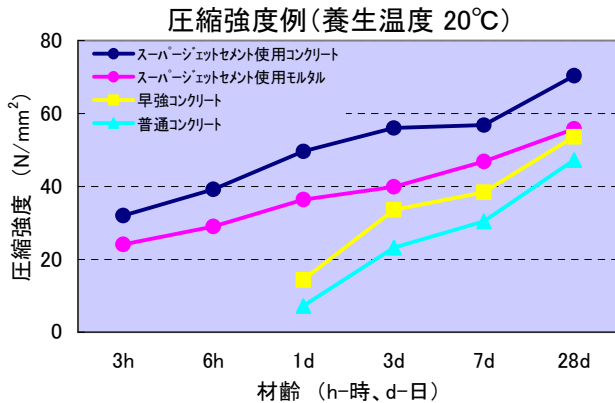


1kg/袋

ジェットセッター-W 凝結遅延剤(液体)



1kg入り/0.8ℓ



スーパージェットセメントを用いた配合例

種類	1袋(20kg/袋)あたりの練り上がり量							1m ³ あたりの配合例						
	セメント (kg)	水 (kg)	細骨材 (kg)	粗骨材 (kg)	減水剤 (kg)	ジェットセッター (kg)	合計 (リットル)	セメント (kg)	水 (kg)	細骨材 (kg)	粗骨材 (kg)	減水剤 (kg)	ジェットセッター (kg)	合計 (リットル)
コンクリート	20	7.1	37	55	0.3	適量	約50	400	150	798	1034	6	適量	1000
モルタル	20	7.4	40	-	0.2	適量	約30	650	241	1300	-	6.5	適量	1000

※細骨材および粗骨材が湿潤または乾燥状態の場合、水量を調整する必要があります。

※上記配合は参考例であり、骨材の種類により配合は異なります。

※ジェットセッターの使用量は、使用上の注意を参照願います。

施工例



道路橋伸縮継手(コンクリート)







マンホール回り(モルタル)



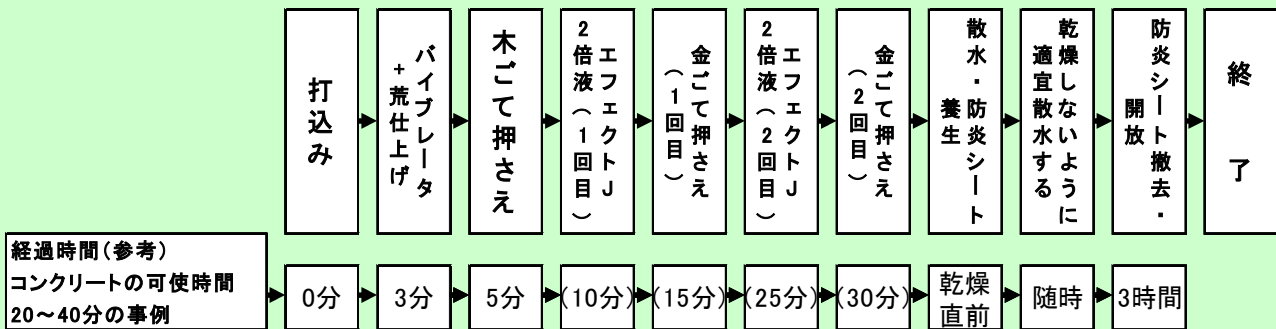
軌道下バラスト補強(グラウト)

練混ぜ参考例

練混ぜ手順	① 細骨材+(水+混和剤)を投入 ↓ (1分間混練) ② セントを投入 ↓ (2分間混練) ③ 粗骨材を投入 ↓ (2分間混練)	① 粗骨材を投入 ↓ ② (水+混和剤)を投入 ↓ (1分間混練) ③ セント+細骨材を投入 ↓ (4分間混練)	① (水+混和剤)を投入 ↓ ② セント+細骨材を投入 ↓ (2分間混練) ③ 別容器にモルタルを移し、粗骨材を加えスコップで練り混ぜ ↓ (3分間混練)	① 細骨材+(水+混和剤)を投入 ↓ ② セントを投入 ↓ (3分間混練) ③ 粗骨材を投入 ↓ (3分間混練)
練混ぜ機材	強制練りパン型ミキサ	傾胴型ミキサ	ハンドミキサ	スコップ練り
状況写真				
コンクリート	○(推奨)	△(可)	△(可)スコップ練りを併用	△(可)
モルタル	○(推奨)	×(不可)	○(推奨)	△(可)

※混和剤(減水剤+ジェットセッター)

養生方法



使用上の注意

- ① スーパージェットセメントは温度に応じて専用凝結遅延剤 **ジェットセッター**を混練水にとかして使用するか、**予め液体に調整してあるジェットセッターW**を使用します。
ジェットセッターの使用量は施工時間30分を目安とすると粉末換算で
夏期 [25℃~35℃] セメント重量に対して 0.9%~1.3% (1.8%~2.6%)
春秋期 [15℃~25℃] セメント重量に対して 0.6%~1.0% (1.2%~2.0%)
冬期 [5℃~15℃] セメント重量に対して 0.3%~0.7% (0.6%~1.4%) が適当です。
()はジェットセッターW使用量の目安
特に、高水セメント比条件下では所定の初期強度が得られません。
高性能減水剤(例えば、マイティ150、マスターレオビルト1440)を使用して、水セメント比は60%以上にならないようご注意ください。
また、温度10℃以下の養生には、給熱機(ジェットヒータ、温風機他)を使用して下さい。
なお硬化し始めたコンクリートに水を加え、練り返して使用することは絶対にさけてください。
- ② 開封したセメントはできるだけ早く使用して下さい。
- ③ ポルトランドセメント等との混合使用は避けてください。

関連商品(フレックス品)

- 超速硬コンクリート : スーパージェットコンクリート・セット
- 超速硬モルタル : ジェットモルタル
- 沓座補修材 : 小野田超速硬グラウト材(PFG-15) 他



取扱い上の注意事項

ご使用前に必ず、スーパージェットセメント&スーパージェットコンクリート総合カタログをご参照ください。

小野田ケミコ株式会社

特殊コンクリート 事業部

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-21

TEL03-6386-7037 FAX03-6386-7025

URL <http://www.chemico.co.jp>

お問い合わせ先



C201408